



春の訪れとともに、ブナ林に積もった雪は解け、ブナの根の周りから徐々に地面が顔を出します。ブナの開葉が始まると山々の新緑は息をのむ美しさで輝きだし、ブナ林全体が命の躍動感で満ち溢れます。



夏は雨が多い時期。雨水は幹を伝い地面にしみ込みます。濡れたブナの幹は黒く光り、幹の模様はつぎりと浮かび上がります。太陽の光は森の最上部でさえぎられ、一歩ブナ林に入ればとてもひんやりします。



風が吹くとブナの葉がひらひらと舞い落ちます。里山の山々には黄色やオレンジ色のブナの紅葉が目立ち、ブナ林には秋のめぐみの時期が訪れます。やがてブナの葉も紅葉し、先きに落ちたブナの種子の布団となります。



ブナの冬芽は厳しい寒さに耐え
ブナの若木も雪の重みにしなやか
に曲がり春が来るのを待ちます
新雪が積もつた寒い朝は、ブナの
枝先にも雪が付着します。それ
はまるで冬に咲く白い花のよう
です。

※散策には冬用装備とスノーシュー等が必要です。

アクセス

● 車をご利用の場合



●電車をご利用の場合



松之山 美人林



編集協力：十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ



新鴻鼎十日町市松之山松口

美人林

bijin-bayashi

bijin-bayashi

松代・松之山温泉観光案内所 ☎025-597-3442

〒942-1526 新潟県十日町市松代3816-1 道の駅まつだい ふるさと会館内

発行元：(一社)十日町市観光協会

美人林にはいろいろな
野鳥が生息しています。
耳をすまして、見つけてね！



アカショウビン

夏鳥で5月に飛来します。松之山の鳥に指定され、よく響く澄んだ声で鳴きます。



アカゲラ

繁殖期特有の軽快なりズムで木をたたくドラムは仲間との通信手段といわれています。



ヤマガラ

ブナの樹洞を利用して繁殖します。雑食で、昆虫、クモ、果実などを食べます。



シジュウカラ

林間を飛ぶ甲虫、アブ、ハエ、蚊の仲間、ブナの実、低木、草本などの実を食べます。



キビタキ

4月下旬に飛来し、雑木林で繁殖します。オスはきれいな色彩で、メスは灰褐色です。

美人林周辺マップ

美人林は松之山松口にある3haほどのブナ林です。昔は名もないブナ林も今では年間約10万人もの人が訪れるブナ林となりました。美人林は日本一美しいと称され、「日本三大ブナ林」の一つに数えられます。

十日町市立里山科学館「森の学校」キョロロ

自然科学をテーマとし、里山の生物と生活様式が展示されている博物館。
開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
[冬季] 9:00～16:00 (入館は15:30まで)
入館料 一般(高校生以上) : 600円
中学生以下・友の会 : 無料
団体20名以上の一般: 500円
休館日 春～秋: 火曜日
冬季 : 火・水曜日、年末年始
TEL 025-595-8311

キョロロHP



青空市場

駐車場
冬期閉鎖

東屋

WC
冬期閉鎖

森森市
木曜定休

～「美人林」の歴史～

明治末期……農業用のため池がつくられる。
大正末期……地主が東京へ転出する際に全てのブナの木を伐採し、炭にして売る。土地も分けられ小作人の薪炭林となる。その後、一斉にブナの芽生えや稚樹が成長しブナ林が再生していく。
昭和20年頃……戦時の物資不足のため、松之山でも樹木の伐採が行なわれるが、美人林は林齢が若く幹が細いため伐採をまぬがれる。
昭和30年頃……農道として「掘割り」がつくられる。
昭和40年頃……松之山町よりスギ林への転換を勧められるが、地主の田辺誠二氏はブナ林のまま維持する。
昭和50年頃……「美人林」という名前で呼ばれ始める。
昭和59年頃……下川手集落を中心に森林浴の場として整備が始まる。
平成8年……美人林コンサートが行なわれ、全国に名前が知れ渡る。
平成14年……東京での松之山写真展で美人林が紹介され美しいブナ林として評価が高まる。
平成16年……ブナの成長を促すための間伐を行なう。
現在……年間約10万人が訪れるブナ林となる。

進入禁止

掘割り

ため池

進入禁止

里山のめぐみ ～案内人ツアー～

美人林ハイキング



美人林スノーシューツアー
(冬期)



松之山ストーリーズ



① 野鳥の営巣活動に干渉せず
地域住民のご迷惑とならないよう野鳥
観察や撮影のルール・マナー順守を
お願いします。

～「美人林」美しい3つの秘密～

秘密①

幹の太さの
そろった木が
多い！

秘密②

枝の少ない
細長い木が
多い！

秘密③

地面がすっきり
と見通しが
良い！

オオアカゲラ

大きさは28cm。翼を開くと49cmにもなり、ドラミング音はアカゲラより大きいです。

ギンリョウソウ

菌類と共生し葉緑体を持たない植物。美人林で梅雨の頃見られる。

オオバクロモジ

多雪地域に多いクスノキ科の落葉低木。葉や樹皮にとても爽やかな芳香を持つ。

シンガシラ

代表的な常緑性のシダ植物。葉の出方が獅子のたてがみに似ていることから名付けられた。

ユキツバキ

多雪地に多い常緑低木。多雪環境に適応した、柔らかく匍匐する幹を持つ。

地衣類

ブナの幹の斑点模様は菌類と藻類が共生した「地衣類」という生き物です。